

# 産業応用フォーラム

## 「移動体用電動力応用システムの要素技術の開発動向と展望」

概要：低炭素社会実現に向けて、HEV、EV、FCV への注目は非常に高まっており、国内メーカーにより実用化および普及が加速的に進められている。自動車は移動体の1種であり、その構成部品には、限られた積載スペースおよび厳しい動作環境での安定かつ信頼性の高い動作が要求される。その部品の中でもモータ・発電機は多点数におよび、外見的には従来の回転機を踏襲するものの、その性能は飛躍的に向上し、我が国は世界の自動車用電動力応用技術をリードしている。他方、移動体をキーワードとすれば、鉄道・船舶・航空機・建機などがあり、自動車と類似あるいは異なる環境条件を持つものの、それぞれの分野で使用される電動力応用技術も世界的に高い水準にある。移動体用電動力システムに求められる要素技術、具体的には熱冷却、振動・騒音低減、絶縁方式・材料、磁性材料、巻線材料および対応巻線技術などに関する調査をベースに国内外の最新技術動向を紹介いたします。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時：2023年11月27日(月) 13:00~17:00

会場：電気学会 会議室

東京都千代田区五番町6-2 HOMAT HORIZON ビル8階

JR 総武線(中央線各駅停車)市ヶ谷駅下車、徒歩2分

TEL: 03-3221-7312

<https://www.iee.jp/wp-content/uploads/honbu/31-doc-honb/map.pdf>

### プログラム：

- |     |             |                         |              |
|-----|-------------|-------------------------|--------------|
| 1.  | 13:00-13:05 | 開会、主催者挨拶                |              |
| 2.  | 13:05-13:10 | 総論                      | 竹本 真紹(岡山大学)  |
| 3.  | 13:10-13:40 | 移動体用電動力応用システムの要素技術の開発動向 | 上野 友之(住友電工)  |
| 4.  | 13:40-14:15 | 自動車用電動力応用システムの駆動系の開発動向  | 加藤 崇(日産自動車)  |
| 5.  | 14:15-14:40 | 自動車用電動力応用システムの非駆動系の開発動向 | 竹本 佳朗(デンソー)  |
| 6.  | 14:40-15:10 | 船舶用電動力応用システムの開発動向       | 阿部 貴志(長崎大学)  |
|     |             | 休憩                      |              |
| 7.  | 15:20-15:55 | 航空用電動力応用システムの技術開発動向     | 光岡 大輔(島津製作所) |
| 8.  | 15:55-16:25 | 鉄道用電動力応用システムの開発動向       | 近藤 稔(鉄道総研)   |
| 9.  | 16:25-16:55 | 建機用電動力応用システムの開発動向       | 加納 善明(大同大学)  |
| 10. | 16:55-17:00 | 主催者挨拶、閉会                |              |
- 司会進行：小坂卓(名古屋工業大学)

テキスト：電気学会技術報告1528号「移動体用電動力応用システムの要素技術の開発動向と展望」をテキストとして使用します。※電気学会図書館(<https://www.bookpark.ne.jp/ieej/>、会員価格適用あり)より各自でご購入ください。

参加費： 会員(正員) ¥6,000-(税込) 非会員(一般) ¥10,500-(税込)  
会員(准・学生員) ¥3,000-(税込) 非会員(学生) ¥4,200-(税込)

申込方法：下記の方法により、お申し込みください。

○ホームページからのお申込み：<https://www.iee.jp/event/forum/> 締め切り2023年11月10日(金)

○定員60名(当日参加は受け付けておりません)

参加費支払い方法：参加費は、Webからのクレジットカードでのお支払いのみとなります。領収書は決済後にWebサイトにて発行されます。

問合せ先：三菱電機㈱ 小川 徹, e-mail: [Ogawa.Toru \(at\) dr.MitsubishiElectric.co.jp](mailto:Ogawa.Toru(at)dr.MitsubishiElectric.co.jp)

主催：電気学会産業応用部門 自動車技術委員会(加藤委員長)